

しまねの河川と海岸だより

(2023年)
令和5年12月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

- ◆ 第2回 斐伊川水系中海支川域川づくり検討委員会を開催しました 河川課企画調査係
- ◆ 拾って学んで海岸漂着ごみ 小・中・高校生との活動報告 廃棄物対策課



第2回 斐伊川水系中海支川域川づくり検討委員会を開催しました

河川課 企画調査係

1. 斐伊川水系中海支川域川づくり検討委員会

斐伊川水系中海支川域では、平成18年(2006年)5月31日に斐伊川水系中海支川域河川整備計画(以下、「計画」という)を策定していますが、近年の大雨により浸水被害が発生している河川や河川整備が完了した河川があるため、この度、計画の見直しを行う予定です。

計画の変更にあたり、令和5年(2023年)12月18日(月)に学識経験者6名(自然環境、土木工学など)や地元代表者6名などからなる「第2回斐伊川水系中海支川域川づくり検討委員会」を開催し、住民アンケート結果の報告、計画(原案)の審議を行いました。委員会では、アンケート結果や計画の記述に関することなど様々な意見をいただきました。

今回の委員会でいただいた意見を踏まえて計画(案)を作成し、今年度中の計画策定に向け、手続きを進めます。



～斐伊川水系中海支川域とは～
飯梨川をはじめ中海に流入する
55の県管理河川から構成します。



委員会の様子

【当初(平成18年5月31日策定)】

対象期間：概ね30年間

整備内容：河道改修(4河川)
飯梨川(下流工区、上流工区)
吉田川、木戸川、田頼川

計画の見直し

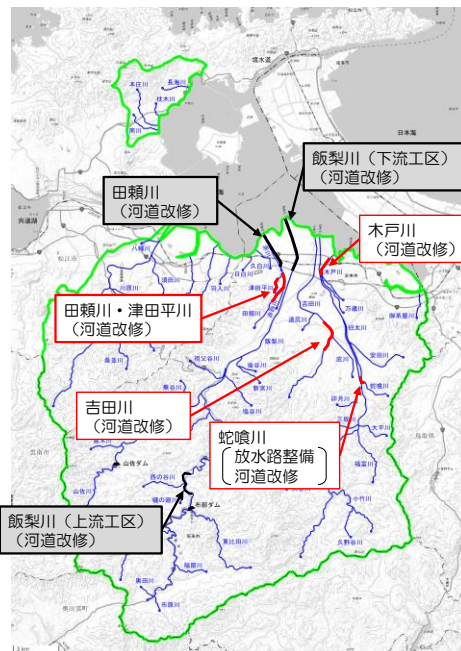
近年の大雨により浸水被害が発生
(平成23年9月、令和3年7月等)
飯梨川および田頼川の河川整備が完了

【第1回変更(今回変更)】

対象期間：概ね30年間

整備内容：河道改修(5河川)
吉田川(施行区間の延伸)
木戸川(継続)
田頼川・津田平川(新規)※
蛇喰川(新規)

※当初計画の上流を新たに施行区間として位置づけ



河川整備計画の内容や川づくり検討委員会の開催状況を島根県河川課の Web サイトで公開しています。詳細については以下の URL をご覧ください。

(河川整備計画の内容)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/hoshin/hiikawasukeinakaumishiseniki/>

(アンケート結果)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/hoshin/hiikawasukeinakaumishiseniki/survey.html>



2. アンケート結果

斐伊川水系中海支川域河川整備計画を変更するために、川づくりに関するアンケートを行いました。

アンケートは河川整備を計画している河川の流域のみなさまにアンケート用紙を配布することに加え、今回新たな取り組みとして WEB による調査を行い、広報やすぎ「どげなかね」等で周知しました。

その結果、平成 16 年（2004 年）度の回答数を大きく超え、多くのご意見をいただきました。みなさまのご協力、ありがとうございました。

アンケート結果の概要は次のとおりです。

アンケート結果

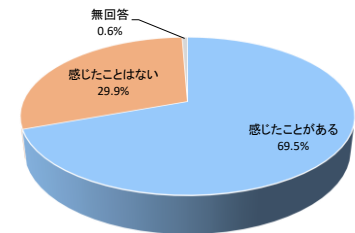
調査時期	回答数	備考
令和 5 年度調査	2,243 件	
平成 16 年度調査	29 件	前回調査

Q. 「身近な川」について洪水に対して不安に感じたことがありますか？

2/3 以上の方が洪水に対して不安を「感じたことがある」と回答しています。

（主な理由）

- ・大雨の時に水があふれる
- ・川幅が狭い
- ・テレビや新聞などでほかの河川の氾濫の報道を見かける



Q. 「身近な川」の環境に満足していますか？

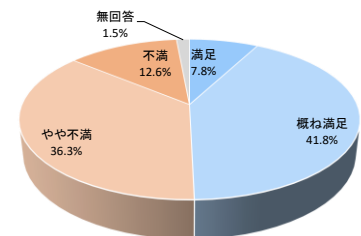
現状の河川に対して「満足」「やや満足」している人と「不満」「やや不満」の人が半々でした。

（満足、やや満足の主な理由）

- ・自然が豊か

（不満、やや不満の主な理由）

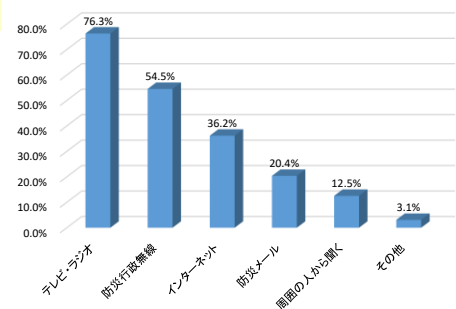
- ・堤防や川の中に草や木が生い茂っている



Q. 大雨の際、防災情報をどのように入手されていますか？

7 割以上の方が「テレビ・ラジオ」から防災情報を入手していました。

また、普段の防災に関する知識も「テレビ・ラジオ」から入手している人が多い結果となりました。



Q. 自由意見

（主な自由意見）

- ・早く改修してほしい／計画を立ててほしい。

（吉田川、木戸川、田頼川、津田平川、蛇喰川、万歳川、久白川、飯梨川、伯太川、卯月川など）

- ・草刈り、伐採を行ってほしい／頻度を上げてほしい。《多数意見》
- ・堆積している土砂を取り除いてほしい。《多数意見》
- ・防災情報の周知を進めてほしい。

拾って学んで海岸漂着ごみ 小・中・高校生との活動報告



廃棄物対策課

今年度も廃棄物対策課では児童・生徒と一緒に海岸漂着ごみの現状や対策について学びましたので、活動の一部を紹介します。

海辺の漂着物調査：各小学校

100 m²の区画内にあるごみを、プラスチック類、発泡スチロール類等、8種類に分類し、重さや個数を調べました。この活動に併せて『【ポイ捨てごみ】と【海岸漂着ごみ】のつながり学習』と題して、海岸漂着ごみは私たちが捨てている生活ごみが河川に流れ込み、海岸に流れ着くことが主な原因であるという説明も行いました。

各小学校の調査結果で共通していたのは、プラスチックごみが多いことや外国のごみがあることでした。

※9月12日～11月24日の間に小学校7校（益田地区6校、隠岐地区1校）で実施。



回収作業の様子



分類作業の様子

令和6年1月24日（木）午後8時54分から放送の

TSK「しまねっこの宅配便」で活動状況が放送されるのでぜひチェックしてみてください。☑

マイクロプラスチック調査：出雲西高等学校



採取作業の様子



マイクロプラスチック

マイクロプラスチックとは直径5 mm以下のプラスチックのことを指し、世界中の海で確認されており、海洋環境等への影響が懸念されています。

11月7日に同校インターアクトクラブの生徒と出雲市西浜海岸において、砂浜に混入しているマイクロプラスチック量を調べたところ、主にプラスチック破片、発泡スチロール破片を採取することができました。

ウミガメや海鳥等、海洋生物がマイクロプラスチックを誤飲していることも確認されていますので、そもそも海にプラスチックごみが流れ出ないように、私たちがごみを減らしていく必要があります。



海洋プラスチックのアップサイクル：島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程

授業の一環で、同校環境学習チームが海洋プラスチックを素材としたキーホルダーを製作し、10月28日まつえ土曜夜市で販売しました。当日は大盛況で、ほぼ完売状態でした。当課は、生徒向けの海ごみ学習の他、海洋プラスチック回収のお手伝いをしました！



皆さんも“①ごみの出る量を減らす、②ごみを分別する、③ポイ捨てはしない”の3つに取り組み、きれいな島根の海を守っていきましょう！



【編集後記】 河川課 企画調査係 野津

みなさま、2023年も残すところあとわずかとなりました。いかがお過ごしでしょうか。

今月号では斐伊川水系中海支川域川づくり検討委員会の様子をご紹介させていただきました。河川整備計画には、今後20年～30年で整備すべき河川とその内容について記載を行い、この計画に基づき事業を進めています。近くで河川工事が行われている方は、島根県河川課のWebサイトで公開していますので、のぞいてみてはいかがでしょうか。（※災害復旧等記載がない場合があります。）

また、江の川水系でも委員会を実施しましたので、その様子は来月号でご紹介しようと思います！
それでは読者の皆様も、風邪などひかずによい年をお迎えください！！

島根県河川課では、今後も引き続き、河川・海岸に関する話題を提供したいと思います。バックナンバーは河川課Webサイトにも掲載していますのでご覧ください。

また、出前講座には以下のWebサイトから申し込みますのでこちらもご利用ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査係

TEL：0852-22-5647 FAX：0852-22-5681 mail：kasen@pref.shimane.lg.jp



河川課 トップページ

<https://www.pref.shimane.lg.jp/kasen/>

河川課 しまねの河川と海岸だより Web サイト

<https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>



「しまね出前講座」申し込み Web サイト

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/demae/>

島根県水防情報システム：川の水位・雨量情報や監視カメラが見られます。

PC版 URL：<https://www.suibou-shimane.jp/pc>

スマホ URL：<https://www.suibou-shimane.jp/s>

携帯版 URL：<https://www.suibou-shimane.jp/m>



川の水位情報（危機管理型水位計）：洪水時の川の水位が見られます。

PC・スマホ共通 URL：<https://k.river.go.jp/>



建設業の魅力を Facebook、X（Twitter）、Instagram で発信しています。

「建設業魅力発信しまね」公式 SNS

